

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成13年4月23日

第4報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	90		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	90		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	240		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	20		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	10		
(珪) <i>Acnathes minutissima</i>	10		
(珪) <i>Cymbella turgidula</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Gomphonema sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	30		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	120		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	240		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	30		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	5		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	200	20.3	25.9
(珪) 珪藻綱	360	36.5	18.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.0	18.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	360	36.5	22.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	45	4.6	15.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	985	総体積	1.11E+06
種類数	21	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

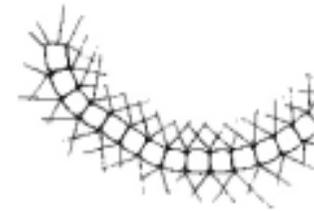
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	140

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Nauplius</i>	20

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

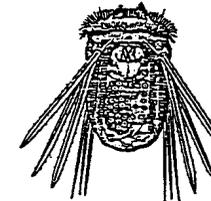
植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4~10 μm と小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:

植物プランクトンのウログレナ アメリカーナは、今回の調査では観察されなかった。例年、この時期は順調に水温が上昇しそれに伴いウログレナも増えてくるが、ここ数日間気温が低下したことから水温の上昇も足踏みしており、そのためにウログレナの増殖も一時的に停滞しているものと思われる。同じ黄色鞭毛藻ではウログレナに代わりヒダサヤツナギがやや増加した。